

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 国のサンゴ移植再開に怒り広がる！



サンゴの移植を再開した防衛局の調査船と抗議・監視するヘリ基地反対協のカヌーチーム (7日=提供・仲本氏)



### 自然と自治の破壊を繰り返す菅政権

防衛省は6日、埋立区域で移植を再開しました。辺野古新基地建設に伴うサンゴ移植で、農相が沖縄県の許可撤回を執行停止したことを受けたものです。

これには「国はそもそもサンゴを守る意思があるのだろうか」「自然と自治を壊す行為だ」(琉球新報社説8日)「国は移植後のサンゴがどう育つかにも責任を持つ必要がある。見極められるまでは工事を止めるべきだ」(沖縄タイムス社説8日)などと地元マスコミや県民から批判と怒りの声が上がっています。

#### 「農水省と防衛省は同じ穴のムジナだ」

ヘリ基地反対協の仲本興真事務局長は「サンゴ移植をめぐって沖縄県は指導に従わない沖縄防衛局のサンゴ採捕許可を撤回したのに、農水省は防衛省の意見に従い執行停止を行った。コロナ感染症が過去最大に拡大中、しかも、台風余波が続く7日にも、防衛局は作業船8隻を繰り出しサンゴの移植作業を再開した。農水省と防衛省は同じ穴のムジナで一人芝居だ。台風時期や夏場の移植を避けるという約束も守らない菅政権は許せない。総選挙で市民と野党の共闘で政権交代させなければ」と語っていました。

### 辺野古新基地に断固反対を！

#### 名護民商が岸本氏と業者要求で懇談

名護民主商工会(仲本興真会長)は6日、来年1月の名護市長選を控え、岸本洋平名護市議を同民商会館に迎え「要求懇談会」を開催しました。民商側から仲本氏ら10人余が参加しました。仲本会長が「市長選にのぞむ私たちの要求」書を岸本氏に手交し説明しました。その要旨は「憲法を暮らしの中に生かし、市民が主人公の市政を」「コロナ禍で市独自の中小業者支援の給付金制度などの実施を」「平和でこそ商売。辺野古新基地建設を断固反対すること」などです。参加者からは個別の要求も出されました。

岸本氏は「中小業者の皆さんの要求実現をめざし、全力をあげます」と応えました。吉居俊平名護市議(共産党)が同席しました。



名護民商会館で開かれた懇談会。円内は要求に応える岸本氏

## 市民の民意が生きる自立・平和な名護市の実現を！ 野党市議団と市民団体の代表が岸本氏に出馬要請



写真右から渡具知さん、比嘉市議、岸本洋平氏、岸本洋平後援会会長の稲嶺進氏

来月1月23日の名護市長選に向け、名護市議会野党市議団と市民団体の代表は9日、名護市内で岸本洋平名護市議に出馬を要請しました。野党市議団の比嘉祐一市議が、野党議員12人の連名で、「ぜひ出馬の決意を」と要請しました。

**10の市民団体が出馬要請**  
市民団体を代表し「ヘリ基地いらない二見以北10区の会」の渡具知智佳子共同代表が「自然豊かで民意が生きる自立・平和な名護市実現ヘリダーシップを」と要請しました。

**岸本氏「身の引き締まる思い」**  
岸本氏は「身の引き締まる思いです。早い時期に前向きな表明をと考えています」と述べ、近く正式に出馬表明する意向を示しました。

**【要請した市民団体】**  
●ヘリ基地いらない二見以北10区の会 ●誇りある名護市をつくる会 ●二見以北住民の会 ●名護市政を考える女性の会(いーなぐ会) ●やまざと将雄後援会 ●ヘリポータル基地の建設を許さないみんなの会 ●名護平和委員会 ●ヘリ基地反対協議会 ●やんばる統一連 ●名護民主商工会